

授業科目名 <英訳>		中毒学 Toxicology		担当者所属・ 職名・氏名		医学研究科 准教授 原田 浩二 医学研究科 教授 小泉 昭夫					
配当 学年	専門職	単位数	2	開講年度・ 開講期	2016・ 後期	曜時限	金2	授業 形態	講義	使用 言語	日本語及び英語
[授業の概要・目的]											
I. コースの概要 前期の中毒学入門の講義で得られた知識を背景に、中毒学研究に必要なGLP (Good Laboratory Practice) を学習し、さらに化学物質の体内動態と実際の化学分析に焦点を当てた、より進んだ中毒学を講義します。 前期の中毒学入門講義を履修していることが必要です。											
[到達目標]											
II. 学習到達目標（このコース終了時まで習得が期待できること） ・ GLPを理解する ・ 体内動態と基本的なモデルを理解する ・ 化学物質の分析手法を説明できる ・ 主要な中毒の防止策を述べるができる											
[授業計画と内容]											
第1回 10月7日 Orientation 第2回 10月14日 GLP “General Provisions” and “Organization and Personnel” 第3回 10月21日 GLP “Facilities” and “Equipment” 第4回 10月28日 GLP “Testing Facilities Operation” and “Test and Control Articles” 第5回 11月4日 GLP “Protocol for and Conduct of a Non-clinical Laboratory Study” 第6回 11月11日 GLP “Records and Reports” 第7回 11月18日 GLP “Disqualification of Testing Facilities” 第8回 11月25日 GLP “Timing of Pre-clinical Studies in Relation to Clinical Trials” 第9回 12月2日 GLP “Preclinical Safety Evaluation of Biotechnology-Derived Pharmaceuticals” 第10回 12月9日 GLP “Safety Pharmacology Studies for Human Pharmaceuticals” 第11回 12月16日 Toxicokinetics 1 第12回 1月6日 Toxicokinetics 2 第13回 1月13日 Research ethics 第14回 1月20日 Chemical analysis 1 第15回 1月27日 Chemical analysis 2											
[履修要件]											
MPH選択、環境衛生学分野必修											
中毒学(2)へ続く ↓ ↓ ↓											

中毒学(2)

[成績評価の方法・観点及び達成度]

- ・ Attendance and active participation 50%
- ・ Presentation 50%

[教科書]

Handouts

1. Code of Federal Regulations ICH Guideline
2. Lu's BASIC TOXICOLOGY 4th edition Frank C. Lu and Sam Kacew, Taylor and Francis, 2002

[参考書等]

(参考書)

[授業外学習（予習・復習）等]

III. 教育・学習方法

- ・ 講義
- ・ 小グループ学習

(その他（オフィスアワー等）)

その他メッセージ

Credits of “Introduction to Toxicology” and “Occupational health and environmental health sciences” are required.

人間健康科学系専攻学生の受講可否： 上限3人まで可能

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。